

素直に自らの想いを伝えてこそ、相手に伝わるもの

社員がガンで亡くなり、歯痛で体調崩した社長であるご主人に代わり、メル友のお母さんが弔辞原稿を書いたとかで、その原稿も添付されて届いた。

メールに次のような一節（抜粋）。

【 弔辞なんて書いたこともなければ、読んだこともなく、ましてや、葬式に行っても、あまり気をつけた事が無かったので思いのまま書くことにしました。

阿部さんとのメール交換から想いを伝える大切さを教えて頂いたからこそ、素直に文章が書けるようになりました。

阿部さん、ありがとうございます。

感動してもらおうとも、泣いてもらおうとも思わず、伝えたいことを伝えたい、その思いだけで私が書きました。

主人は歯痛でハフハフで読みましたが、奥さんが「化粧がボロボロなちゃった」と言ってくれました。

なんか、凄く嬉しかったです。想いを伝える大切さを実感しました。

あまりにも嬉しかったので、阿部さんにもお裾わけです。 】【

添付の原稿も目にしたが、亡くなられた社員を代弁して奥さんに語りかけた部分は、参列者の印象に残ったと思うし、まして、奥さんが「化粧がボロボロなちゃった」と云うのも当然と思えた。

人は素直に自らの想いを伝えてこそ、相手に伝わるもの。

日頃のメール交流（螺旋的コミュニケーション）が、こうした時にも「素直に文章が書ける」ことに繋がったようで、こちらまで嬉しくなっちゃった (^_^) /

阿部幸泰 （2012年10月26日 記）